

様式第 1 号

会 議 録

会議の名称	令和 8 年度 第 1 回所沢市立所沢図書館協議会
開催日時	令和 8 年 7 月 3 0 日（木）午前 1 0 時 0 0 分～午前 1 1 時 5 0 分
開催場所	所沢市役所 3 階 第 5 委員会室
出席者の氏名	喜多濃定人、猪口茂、齋藤千里、針生清美、河本直子、高橋宏司、 藤本浩志、秋山美和子
欠席者の氏名	秋本 敏、宮原礼典
説明者の職・氏名	
議 題	（１）令和 7 年度の図書館事業の振り返りについて（公開） （２）令和 8 年度の図書館事業について（公開） （３）その他（公開）
会 議 資 料	・ 令和 8 年度第 1 回所沢市立所沢図書館協議会次第 ・ 令和 8 年度事務事業評価（所沢図書館分）【案】 ・ 第 3 次所沢市図書館ビジョン 評価事項及び数値目標 ・ 所沢図書館かくれがプロジェクト（チラシ） ・ 所沢図書館萬葉植物園内の樹木強剪定等施行箇所図 ・ 読書バリアフリーについて
担 当 部 課 名	教育委員会 教育長 岩間健一 教育総務部 部長 池田淳 所沢図書館 参事 中村まさみ 主査 下村恵利子 主査 荒井英子 主査 金子大敏 主査 本橋佐和 主査 竹内志帆 主査 吉田隆幸 主査 糟谷明美 主査 小貫由依 所沢図書館 電話 0 4 - 2 9 9 5 - 6 3 1 1

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	1 開 会 開会に先立ち、この会議は、「所沢市の会議の公開に関する指針」に基づき、原則公開 となっているため、冒頭より公開として進めていくが、議事については、後ほど公開、非公開の決定をご審議いただく。 （傍聴者の確認） 傍聴者あり
教育長	2 委嘱状交付 新任委員へ委嘱状を交付
教育長	3 挨拶 教育長挨拶
委員	委員自己紹介
事務局	事務局自己紹介
事務局	続いて、当協議会の会長については、前会長の退任により不在であるため、所沢市立所沢図書館設置条例施行規則第 9 条第 3 項「副会長は、会長に事故あるときは、その職務を代理する」に基づき、副会長に会長代理をお願いする。 以下、副会長が会長代理として議長となり進行
会長代理	先ず議事に先立ち、冒頭より公開として進めているが、議事についての公開、非公開をご審議いただく。事務局から説明願いたい。
事務局	議事（議事 1 及び議事 2）については、指針に基づき公開、報告事項の「次期指定管理者候補者の選定結果について」は、市議会議案提出予定であり、政策決定過程の報告のため、所沢市情報公開条例第 7 条第 5 号により、非公開とすべきと考える。
会長代理	議事は公開、報告事項の「次期指定管理者候補者の選定結果について」は、

	非公開としてよろしいか。
委 員	(委員一同了承)
会長代理	議事録は要点筆記とすること、発言者は「委員」とのみ記載すること、会議録の署名人を齋藤委員、河本委員とすることとしてよろしいか。
委 員	(委員一同了承)
事務局	資料の確認 ・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 席次 ・ 令和 8 年度事務事業評価（所沢図書館分）【案】（資料 1） ・ 第 3 次所沢市図書館ビジョン 評価事項及び数値目標（資料 2） ・ 所沢図書館かくれがプロジェクト（チラシ）（資料 3） ・ 所沢図書館萬葉植物園内の樹木強剪定等施行箇所図（資料 4） ・ 読書バリアフリーについて（資料 5）
	4 議事
会長代理	(1) 令和 7 年度の図書館事業の振り返りについて 事務局から説明願いたい。
事務局	資料 1・資料 2 を基に説明
会長代理	事務局からの説明について、意見・質問等はあるか。
委 員	資料 2 の司書率は目標 75%に対し、実績 74.7%であるが、司書として勤務している人の割合か。分館の指定管理業者も入っているのか。また、目標値として 75%は妥当なのか。
事務局	全館含めての数値である。指定管理者の司書率は、要求水準より高く、現在 81.6%である。本館は、事務職として採用された市職員が配属されるが、その中で司書資格がある職員の比率として 5 月 1 日現在 58.3%である。

事務局	本館は事務処理の業務があるため、職員全員が窓口業務を行うものではない。現在の司書率でも低い数値ではないと考える。
委 員	資料 1 の催し物の参加者数の目標数値や実績については、参加者の属性、年齢層、目的等は拾えているのか。また、コンビニエンスストア図書等取次事業は、オンライン予約をしても高齢者は図書館へ受取りや返却をしに行くことが難しい場合もある。他市公立図書館等での予約図書の受取り返却スポットの成功事例があれば参考としてほしい。
事務局	参加者数の属性は、定例の子ども向けおはなし会、一般向け講演会は把握している。講演会の際にはアンケートを収集して参加者の属性や今後の講演要望等を把握している。
事務局	コンビニエンスストア図書等取次事業は、全国でもあまり例がない。駅などでの取り次ぎ等、別の業態での事例を研究したい。
委 員	令和 5 年度現状、令和 7 年度実績、令和 10 年度目標となっているのはなぜか。
事務局	（資料 1）は市の指標の目標設定の年度で作成した資料である。 経年の比較ができるように、（資料 2）図書館ビジョンの資料については、毎年度の目標値を記載している。
委 員	コンビニエンスストア図書等取次事業は、7 店舗から 4 店舗に減っているが、利用冊数は増加している。活用されていると考えるが、分館のない小手指地区、北野地区にも設置できると良いのではないか。
事務局	サービスが行き届かない地域に取扱店舗を増やしたいところである。現在、小手指地区は小手指まちづくりセンター分館で図書等の取次ぎをしている。
委 員	国立国会図書館のデータベースへのアクセスは 1 回線のみなのか。
事務局	市内全館で 1 アクセスとなっているのは、朝日新聞と読売新聞の有料データベースである。日本経済新聞の日経テレコンは本館のみで閲覧可能となっている。レファレンスで使用している現状でもそれほど利用が重なることは無い。 国立国会図書館は、デジタルコレクションとして、インターネット公開の資

委 員	料群と送信サービス申込者が閲覧できる資料群がある。この送信サービスは、本館、分館全て登録しており、制限なくアクセスできる。 なお、国立国会図書館館内のみ閲覧が可能なデジタル資料群もある。
事務局	レファレンスサービスに力を入れているが、国立国会図書館レファレンス協同データベースへの登録状況と市のWEB上の公開の状況について伺いたい。
会長代理	公開事例数や参照件数が規定に達しているとして、国立国会図書館から連続10年以上お礼状をいただいている。毎年100件以上のレファレンス事例を登録している。図書館ホームページにリンクを張り、閲覧できるようにしている。今年度からSNSでも発信を始めた。
委員一同	他に意見はないか。
事務局	(意見なし) 図書資料等収集整備事業及び図書館資料収集・整理・保存事業について (資料1・資料2を基に説明)
会長代理	・令和7年度は郷土資料・行政資料643点を受け入れた。 ・電子書籍は一般書752点、児童書100点を購入した。 ・資料回転率の事務事業評価と図書館ビジョンの目標値の差異について説明 意見・質問はあるか。
委員一同	(意見なし)
事務局	・図書館施設維持管理事業について説明 ・所沢図書館分館施設管理運営事業について説明
事務局	・子どもの読書活動推進事業について説明
会長代理	意見・質問はあるか。
委 員	1点目、図書館施設維持管理事業については、椿峰分館の照明が改善された点は良かった。昨年度のモニタリングで指摘したが、新所沢分館のおはなし会

事務局	室に対面朗読の机があった。既存の対面朗読室を利用し、おはなし会室を終日、親子に開放できるように改善されたか。 2点目、本を全く読まない子どもの割合については、学校司書が全日勤務でなく、学校を兼任している状況もあり、学校司書の研修が重要である。公共図書館からの学校司書への研修体制について伺いたい。 新所沢分館の対面朗読室は利用可能となっており、おはなし会室は、終日、親子に開放できるように改善している。 学校司書研修会の2回目の研修は、学校教育課からの依頼を受け、所沢図書館で開催している。
委員 事務局	本を全く読まない子どもの調査の0冊は、読み終えていない場合を含むのか。 読み終えていない場合を含め、調査対象期間に0冊である子どもも含まれている。
委員 事務局	読書時間で調査すると良いのではないか。 学校での朝読書など、少しでも本に触れる機会が必要である。 時間での調査はしていない。全校ではないが朝読書をしている。
委員	所沢図書館分館管理施設運営事業で、祝日開館、夜間開館をしているが、来館者数はどうか。21時まで開館する必要があるのか。見直し等を検討しているのか。
事務局	新所沢分館の新規開館の際、都内勤務の方の来館を見込んで開館時間を設定した。夜間開館時間帯の入館者数は把握している。学生等の利用や延長要望も多い。見直しについては、状況等を見ながら検討していきたい。
委員 事務局	来館者の年代や属性が取れると良いのではないか。 来館時の通過の際に来館者数のカウントをしているため、年代別は取れていない。今後の検討課題である。
委員	学校司書の研修について、学校図書館の現場での研修をお願いしたい。

事務局	学校司書については、学校教育課の所管であるため、ご要望を共有し、要請があれば対応していきたい。
会長代理	(2) 令和8年度の図書館事業について 事務局から説明願いたい。
事務局	・令和8年度の図書館事業について説明 様々な取り組みの成果として貸出数の上昇、来館者数は、昨年度は過去5年間で最も多く、前年度比10.4%増加している。また、子どもの読書活動推進については、スマートフォンやタブレット等の普及により図書等の利用が減少傾向にあるが、本を全く読まない子どもの割合は、年度により増減があるものの全体としてはゼロに近づいている。令和8年度においても引き続き第3次所沢市図書館ビジョンに基づき、図書館利用促進に努める。令和8年度の新たな取り組みは次のとおりである。
事務局	・資料3 所沢図書館かくれがプロジェクトについて説明
事務局	・資料4 萬葉植物園維持管理事業（緊急対応）について説明
会長代理	意見・質問はあるか。
委 員	かくれがプロジェクトについては、社会福祉協議会の活動や、「ふらっと」が実施している「ひきこもり女子会」等の事業のように、引きこもりの方や不登校の子にも利用してもらいたい。相談室は、毎日利用できるのか。
事務局	相談室は、健康推進部の事業であるが、精神保健福祉士等のチームが常設する相談室を設置するものである。
委 員	かくれがプロジェクトは広報の特集を組んで周知すべきではないか。
事務局	今後、周知方法を検討していきたい。
委 員	図書館事業だけではなく、連携した事業を行い社会課題の改善に取り組んでいることに感謝する。

委 員	かくれがプロジェクトは、もっと派手に周知していくべきである。チラシのレイアウトも含め、目を引くように改善していくとよい。
事務局	子ども向けに改善していきたい。
委 員	かくれがプロジェクトは素晴らしい取り組みである。学生と一緒に事業やイベントの企画ができると良い。
会長代理	若者向けの相談室の設置、1冊の本との出会いで変わる第1歩を踏み出せるよう、引きこもりの子たちがふらっと出かけることは難しい。LINE等でつながれるように、他部署との連携を図ってほしい。では、次の説明を事務局からお願いしたい。
事務局	公益財団法人角川文化振興財団図書事業部との連携事業について説明 ホームページの相互リンク、図書館まつりでの書棚展示、「大空へその先へ」の展示に航空資料を貸し出す等の連携を図ってきた。令和8年度は、月に1回定例会を行い、連携協力の検討を進めている。
事務局	読書バリアフリーについて説明 りんごの棚の設置状況、点字つき触る絵本、大活字本、LLブック、布絵本、障害を知る本等、資料内容の説明を行い、資料の回覧をした。
委 員	布絵本は、保育士にも広まってほしい。りんごの棚のコーナーについては、車椅子の子どもも利用できるような展示方法と目立つような工夫がほしい。
事務局	検討していく。
会長代理	他に意見はあるか。
委員一同	(意見なし)
会長代理	(2) その他 「議事(2) その他」に入る。事務局から、何かあるか。 特に無い。

事務局	その他、委員から何かあるか。
会長代理	
委 員	各館にマスコットキャラクターがいるが、その経緯と活用方法について伺いたい。
事務局	本館は、トベアというクマである。子ども室のクマのぬいぐるみが基となっているキャラクターであり、命名は募集したもの。分館は地域性のあるキャラクターで、子どもたちに親しまれる動物等を用いて指定管理者が作成したキャラクターである。広報物に登場するほか、全館でのスタンプラリーや景品等のデザインに使用している。
会長代理	他に意見はあるか
委員一同	(意見なし)
会長代理	議事終了により、進行を事務局に戻す。
事務局	5 報告事項 ・第27回図書館まつりは、11/7(土)、8(日)に開催する。 ・令和8年度第2回図書館協議会の日程は、10月下旬頃を予定している。
事務局	会議冒頭で非公開と決定した事項の報告に入る。非公開事項報告後、そのまま閉会とする。
事務局	<傍聴者退室> 以下非公開 ・次期指定管理者候補者の選定結果について報告
	6 閉会